
2018年度 桃山学院大学生の
学生生活上の諸活動に関する実態調査

■本調査について

多様化する学生の実態を把握することは、学生サービスの更なる充実に繋がるとともに、大学の自己点検・自己評価の指針として重要である。

そこで本学では、1994年より毎年1回、ポイントを絞った形で独自の学生生活実態調査を実施している。94年度は奨学金制度の改革および特に下宿生へのサポート体制の確立に向けた資料作りとして「経済状況調査」を実施し、翌95年度は和泉新キャンパス移転に伴う学生生活の環境変化およびクラブ・サークル活動、大学祭など正課外のキャンパスライフおよびイベントへの関心度を探る「課外活動に関する実態調査」を実施、また96年度は大学への登校時刻・出席コマ数から食事のとり方、趣味・嗜好品、悩み事までにいたる「個人生活」について実施した。各々の調査結果は「下宿物件の開拓」「奨学金制度の改革」「学生福利厚生等施設の建設」などに生かされたほか、「自由回答」にある様々な「声」を大学として責任をもって受け止め、それに応える機関としての「わたしの提案箱（A.C.C）制度」の実施（1998年度から発足）など、学生サービス諸施策の立案や制度改革に取り組み、一定の成果を上げてきた。

それから十数年が経過した現在、課外活動分野の調査のみならず、学生生活における正課活動の「位置づけ」から個々の諸活動にまで項目を掘り下げ、本学学生をとりまくすべての環境と動向について調査を行った。

■調査の概要

○調査期間：2018年12月17日（月）

○調査方法：講義時間の冒頭に出席者に用紙を配布し、記入後回収

○調査対象：月曜2時限目開講科目のうち、以下2講義を履修した学部学生1,124名

（内訳：経済293名、社会147名、経営278名、国際教養166名、法学部240名）

・自然科学—進化の科学：生命・心・文化 <秋集>

・日本経済論Ⅱ <秋>

○有効回答者数：305名（回答率：27.1%）

○表記方法：各設問の回答結果を視覚的に把握できるよう、択一式の設問は円グラフにより割合を、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示した。

1 学業について

資格課程
進路

2 課外活動について

クラブ・サークルへの加入状況
クラブ・サークルの満足度
ボランティア活動

3 経済・生活状況について

3 学費

奨学金
奨学金の必要度
現在の住居
アルバイト
携帯電話（利用頻度や料金）

4 読書について

本学図書館の利用状況
読書に要する費用（1 ヶ月）
読書量（1 ヶ月）
読書に費やす時間（1 日）



5 悩み・健康について

現在の関心事
現在の悩み
困ったとき、悩んだ時の相談相手
日頃のストレス
日頃の健康
健康についての気遣い
飲酒
喫煙
嫌煙
睡眠時間
食生活
朝食

6 情報関連について

パソコン保有状況
パソコン（ワード）習得状況
パソコンの主たる利用目的
インターネットの利用
本学ホームページの利用
本学情報センター自習室の利用
本学からの情報
本学から送信されるメール
M-Port
Campus Guide
情報の確認手段

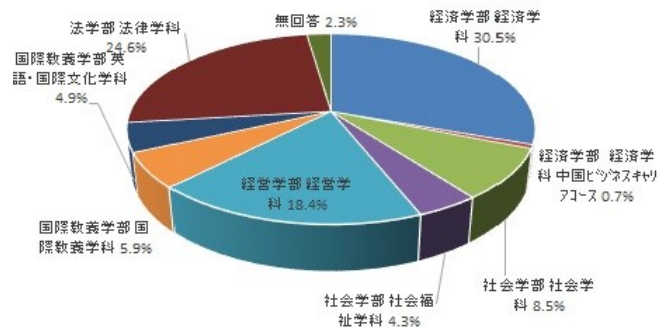
7 自由記述について

大学に対する要望

回答者の基礎資料（フェイス）

○所属する学部・学科

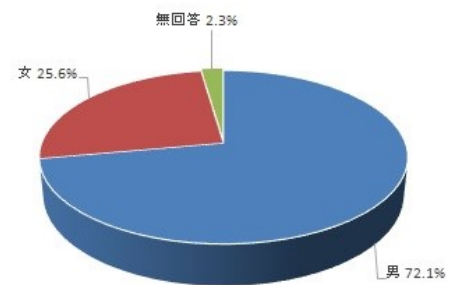
	学部・学科	人数	構成比
1	経済学部 経済学科	93	30.5%
2	経済学部 経済学科 中国ビジネスキャリアコース	2	0.7%
3	社会学部 社会学科	26	8.5%
4	社会学部 社会福祉学科	13	4.3%
5	経営学部 経営学科	56	18.4%
6	国際教養学部 国際教養学科	18	5.9%
7	国際教養学部 英語・国際文化学科	15	4.9%
8	法学部 法律学科	75	24.6%
	無回答	7	2.3%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

○性別

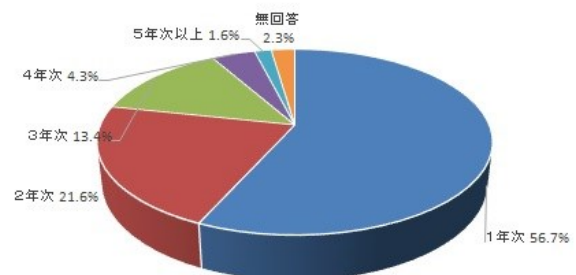
	性別	人数	構成比
1	男	220	73.8%
2	女	78	26.2%
	無回答	7	2.3%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

○年次

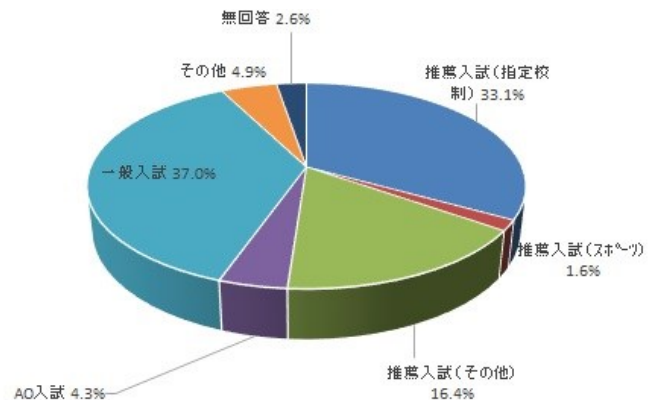
	年次	人数	構成比
1	1年次	173	56.7%
2	2年次	66	21.6%
3	3年次	41	13.4%
4	4年次	13	4.3%
5	5年次以上	5	1.6%
	無回答	7	2.3%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

○入試制度

	入試制度	人数	構成比
1	推薦入試（指定校制）	101	33.1%
2	推薦入試（ｽﾎｰﾙ）	5	1.6%
3	推薦入試（その他）	50	16.4%
4	AO入試	13	4.3%
5	一般入試	113	37.0%
6	その他	15	4.9%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

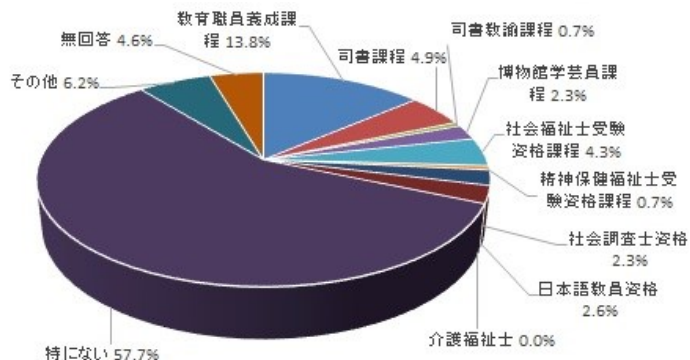
学業について

Q.1 本学で一番取得したい資格課程は？

例年同様「特にない」が半数以上を占めるという結果となった。「社会福祉士受験資格課程」、「教職員養成課程」が前回調査時より増加となった。また、「司書課程」は2008年度調査では13.7%で最も人気の高い資格課程であっ

たにも関わらず、年々割合が低下し、現在は4.9%と低い割合となっている。

	取得したい資格課程	人数	構成比
1	教育職員養成課程	42	13.8%
2	司書課程	15	4.9%
3	司書教諭課程	2	0.7%
4	博物館学芸員課程	7	2.3%
5	社会福祉士受験資格課程	13	4.3%
6	精神保健福祉士受験資格課程	2	0.7%
7	社会調査士資格	7	2.3%
8	日本語教員資格	8	2.6%
9	介護福祉士	0	0.0%
10	特にない	176	57.7%
11	その他	19	6.2%
	無回答	14	4.6%
	合計	305	100.0%

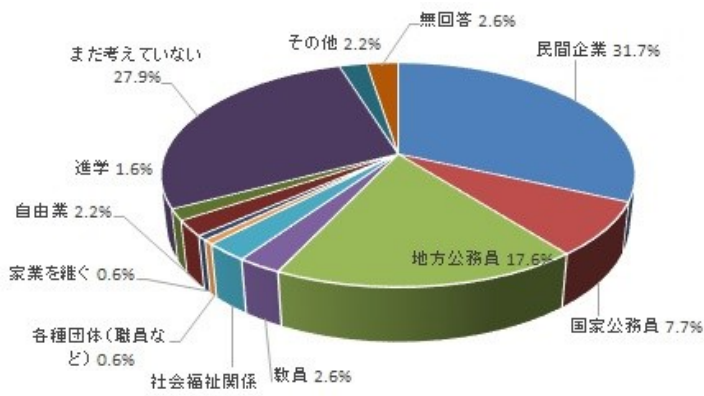


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.2 卒業後の進路希望は？ ※重複回答者一部含む

前回調査時と比べ民間企業就職希望者13.8ポイント、社会福祉関係が1.3ポイント増加と変化している。「まだ考えていない」が2.2ポイント増加した。

	卒業後の進路希望	人数	構成比
1	民間企業	99	31.7%
2	国家公務員	24	7.7%
3	地方公務員	55	17.6%
4	教員	8	2.6%
5	社会福祉関係	8	2.6%
6	各種団体（職員など）	2	0.6%
7	家業を継ぐ	2	0.6%
8	自由業	7	2.2%
9	進学	5	1.6%
10	まだ考えていない	87	27.9%
11	その他	7	2.2%
	無回答	8	2.6%
	合計	312	100.0%



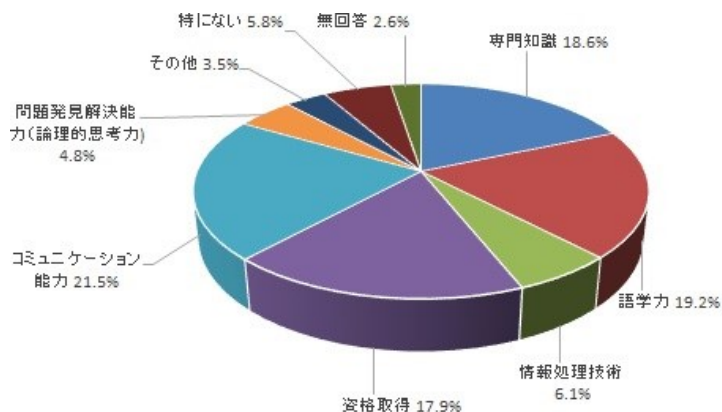
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.3 自分の進路のために一番身につけたいものは？ ※重複回答者一部含む

過去の調査では割合の高かった「資格取得」を近年は「コミュニケーション能力」や「語学力」が上回るようになっており、今回も同様の結果となった。昨今の就職活動において

は、学業成績や資格修得よりも、大学生活の過ごし方や面接を重要視する企業が多くなっていることが要因の一つと考えられる。

	進路のために身につけたいもの	人数	構成比
1	専門知識	58	18.6%
2	語学力	60	19.2%
3	情報処理技術	19	6.1%
4	資格取得	56	17.9%
5	コミュニケーション能力	67	21.5%
6	問題発見解決能力（論理的思考力）	15	4.8%
7	その他	11	3.5%
8	特にない	18	5.8%
	無回答	8	2.6%
	合計	312	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

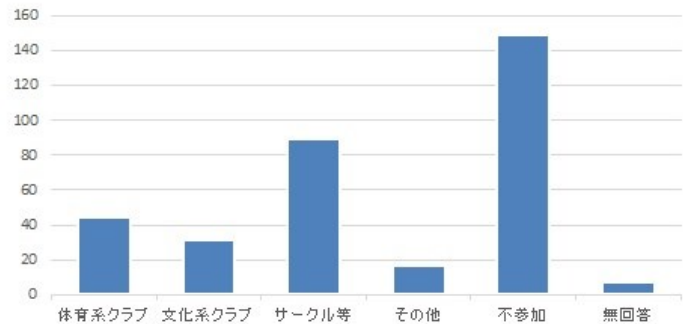
課外活動について

Q.4 所属クラブはどこですか？ ※複数回答可

近年では「活動時間が多い」「上下関係が厳しい」イメージのある体育系・文化系クラブへの加入者数は減少傾向にある。

り、併せてサークル加入者数についても減少傾向にある。今回、「不参加」が最も多い回答となった。

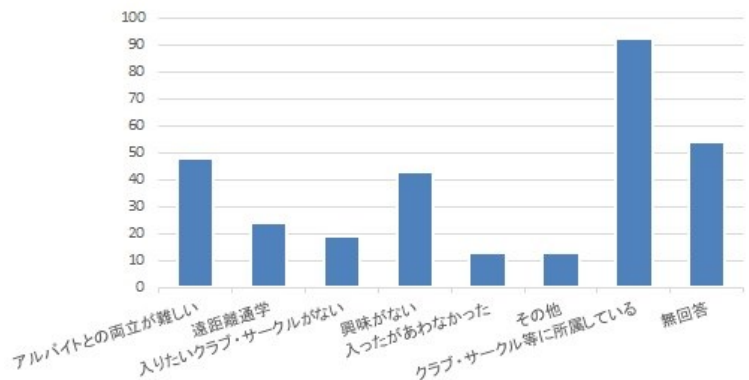
	所属クラブ	人数
1	体育系クラブ	44
2	文化系クラブ	31
3	サークル等	89
4	その他	17
5	不参加	149
	無回答	7
	合計	337



Q.5 不参加の理由は？ ※重複回答者一部含む

「アルバイトとの両立が難しい」が多く、併せてそもそも「興味がない」という回答が次いで多い結果となった。

	課外活動不参加の理由	人数
1	アルバイトとの両立が難しい	48
2	遠距離通学	24
3	入りたいクラブ・サークルがない	19
4	興味がない	43
5	入ったがあわなかった	13
6	その他	13
7	クラブ・サークル等に所属している	92
	無回答	54
	合計	306

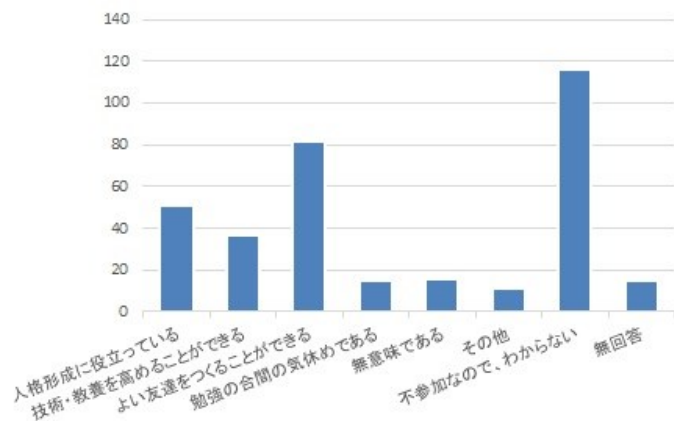


Q.6 クラブ活動にはどんな効果があると思いますか？ ※複数回答可

前回までの調査と同様、活動自体から得られる能力向上よりも「よい友達をつくらことができる」「人格形成に役立っている」などの副次的効果に満足を感じる学生が多い結果となった。言うまでも無く、クラブ・サークル活動は、多くの

学生が高めたいと感じている「コミュニケーション能力」の向上に効果的であり、課外活動への参加は学生にとって有益であるといえる。

	クラブ活動の効果	人数
1	人格形成に役立っている	51
2	技術・教養を高めることができる	37
3	よい友達をつくらことができる	82
4	勉強の合間の気休めである	15
5	無意味である	16
6	その他	11
7	不参加なので、わからない	116
	無回答	15
	合計	343



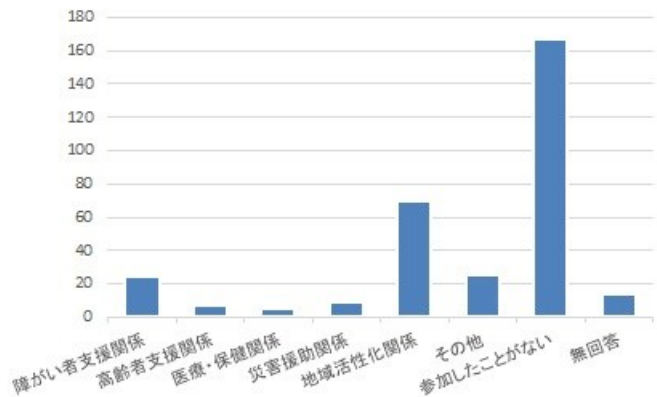
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

課外活動について

Q.7 今までにどのようなボランティア活動に参加したことがありますか？ ※複数回答可

参加経験「有」の中では、「地域活性化関係」のボランティア活動が上位となった。一方「参加したことがない」学生が約半数近くを占める結果となった。

	今までに参加したボランティア	人数
1	障がい者支援関係	24
2	高齢者支援関係	7
3	医療・保健関係	5
4	災害援助関係	9
5	地域活性化関係	70
6	その他	25
7	参加したことがない	167
	無回答	14
	合計	321



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

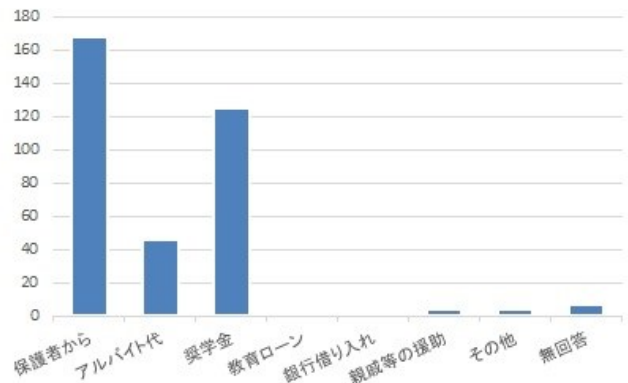
経済・生活状況について

Q.8 学費納入手段として主に考えているものは何ですか？ ※複数回答可

学費支弁の手段として「奨学金」の割合が年々増加しており、2008年調査結果では24.4%であったが、今回調査では35.1%となった。反対に「保護者から」の割合は、2008年

調査では70.4%であった割合が、今回調査では47.2%と年々減少傾向にあり、厳しい経済状況がうかがえる。

	学費納入手段として主に考えているもの	人数
1	保護者から	168
2	アルバイト代	46
3	奨学金	125
4	教育ローン	2
5	銀行借入れ	0
6	親戚等の援助	4
7	その他	4
	無回答	7
	合計	356

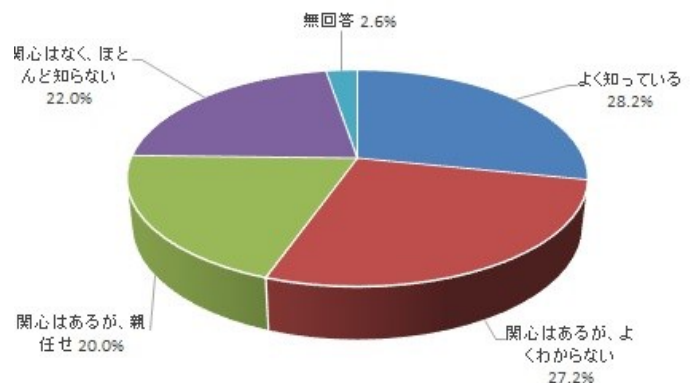


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.9 本学の奨学金制度についてどの程度知っていますか？

「よく知っている」の割合が減少し、「関心はあるが、よくわからない」の割合が増加した。次のQ.10の結果とも関連してくるが、今後も大学として、よりわかりやすい説明や情報発信を行う必要がある。

	本学の奨学金について	人数	構成比
1	よく知っている	86	28.2%
2	関心はあるが、よくわからない	83	27.2%
3	関心はあるが、親任せ	61	20.0%
4	関心はなく、ほとんど知らない	67	22.0%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



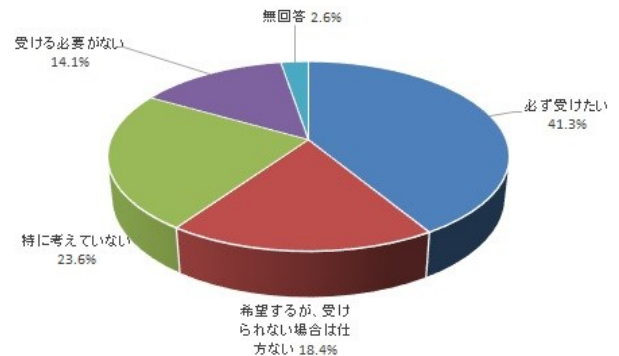
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

経済・生活状況について

Q.10 奨学金の必要度はどのくらいですか？

奨学金については「必ず受けてたい」の割合が高いのが特徴である。昨今の経済事情もあり、Q.8の学費納入手段の「保護者から」の回答が減っていることもあり、奨学金を「必ず受けてたい」という回答は高い割合となっている。

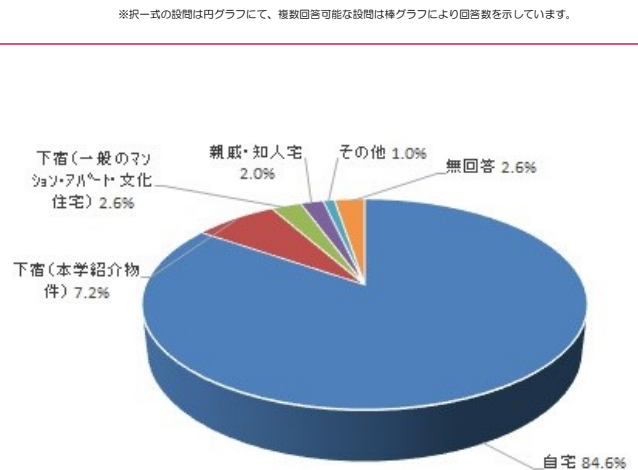
	奨学金の必要性	人数	構成比
1	必ず受けてたい	126	41.3%
2	希望するが、受けられない場合は仕方ない	56	18.4%
3	特に考えていない	72	23.6%
4	受ける必要がない	43	14.1%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



Q.11 現在の住居形態は何ですか？

主に経済的理由という要因が推測されるが、下宿学生は近年減少傾向にあり、今回についても昨年度と比べて6.0ポイント減少した。

	現在の住居	人数	構成比
1	自宅	258	84.6%
2	下宿（本学紹介物件）	22	7.2%
3	下宿（一般のマンション・アパート・文化住宅）	8	2.6%
4	親戚・知人宅	6	2.0%
5	その他	3	1.0%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%

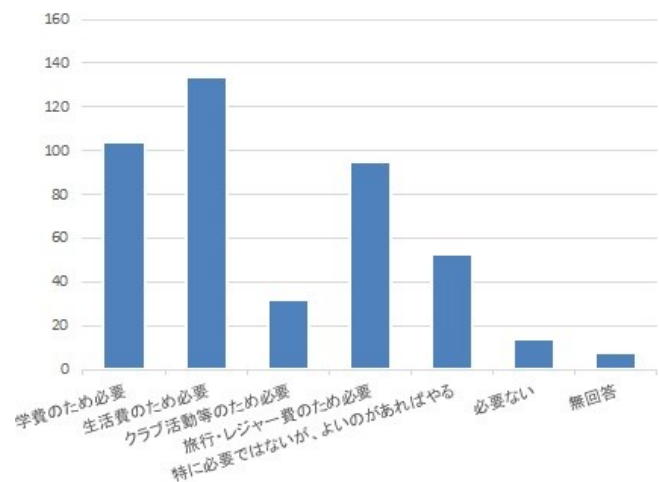


Q.12 アルバイトは必要ですか？ ※複数回答可

アルバイトについては年々回答件数に対する「学費のため必要」の割合が増加しており、学生の厳しい経済事情が伺える。

ただし、過度なアルバイトは学業に支障をきたす恐れがあり、注意が必要である。

	アルバイトの必要性	人数
1	学費のため必要	104
2	生活費のため必要	134
3	クラブ活動等のため必要	32
4	旅行・レジャー費のため必要	95
5	特に必要ではないが、よいがあればやる	53
6	必要ない	14
	無回答	8
	合計	440



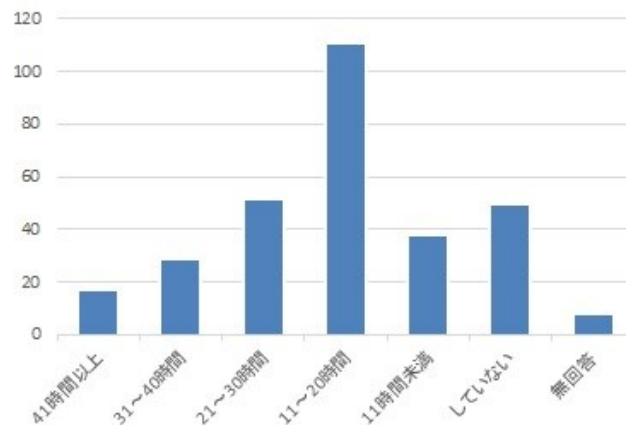
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.13 1週間のアルバイト時間は？

週30時間未満が半数以上の割合を占める結果となったが、週30時間超の学生も46名、15.1%と一定数存在し、学

業への支障が懸念され注意が必要である。

	1週間のアルバイト時間	人数
1	41時間以上	17
2	31～40時間	29
3	21～30時間	52
4	11～20時間	111
5	11時間未満	38
6	していない	50
	無回答	8
	合計	305



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.14 学業とアルバイトの両立について

両立ができていない学生が半数を超える結果となった。一方、両立できていない学生も33件、10.8%存在した。

「Q.13」アルバイト時間にて長時間アルバイトを行う学生がいたが、過度なアルバイトには注意が必要である。

	学業とアルバイトの両立について	人数	構成比
1	できている	161	52.8%
2	できていない	33	10.8%
3	判断できない	102	33.4%
	無回答	9	3.0%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

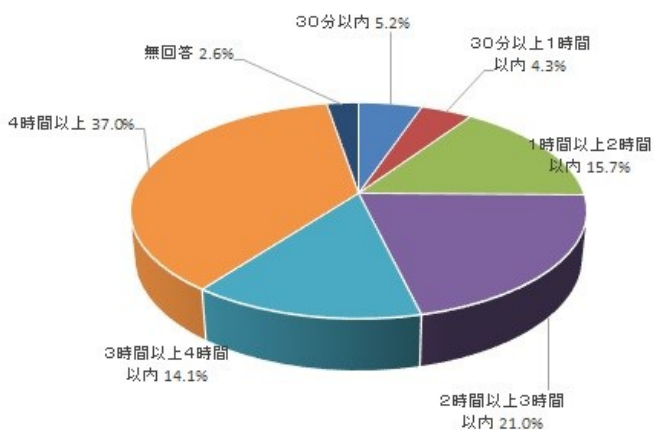
経済・生活状況について

Q.15 一日の携帯電話の利用時間はどのくらいですか？（通話・メール作成時間を含む）

前回調査と比較すると、携帯電話の利用時間は「2時間以内」が3.4ポイント減少し、「4時間より多い」が6.6ポイント増加した。利用時間が2時間を越えるのは、スマートフォンのアプリ機能など、近年電話やメール以外の諸機能が充実

してきたことが影響していると考えられる。

	1日の携帯電話の利用時間 (通話時間やメールの作成などを含む)	人数	構成比
1	30分以内	16	5.2%
2	30分以上1時間以内	13	4.3%
3	1時間以上2時間以内	48	15.7%
4	2時間以上3時間以内	64	21.0%
5	3時間以上4時間以内	43	14.1%
6	4時間以上	113	37.0%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



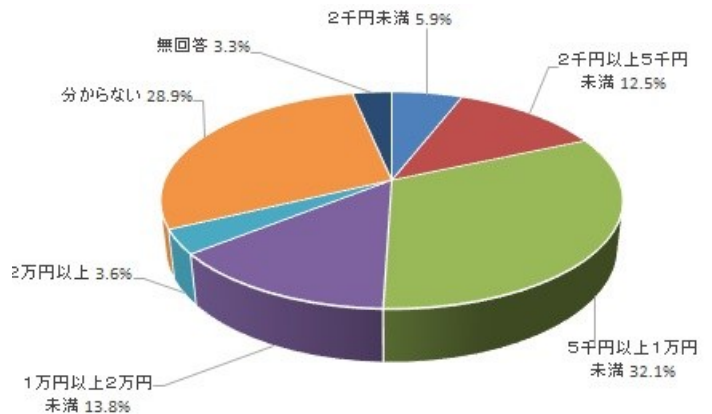
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.16 1カ月の携帯電話の利用料金はいくらくらいですか？

利用料金については、わからないと答えた項目の割合が約3割と料金を意識せず利用している学生が多くいることがわ

かった。また、割合としては5千円～1万円の利用者が一番多い結果となった。

	1カ月の携帯電話の利用料金	人数	構成比
1	2千円未満	18	5.9%
2	2千円以上5千円未満	38	12.5%
3	5千円以上1万円未満	98	32.1%
4	1万円以上2万円未満	42	13.8%
5	2万円以上	11	3.6%
6	分からない	88	28.9%
	無回答	10	3.3%
	合計	305	100.0%



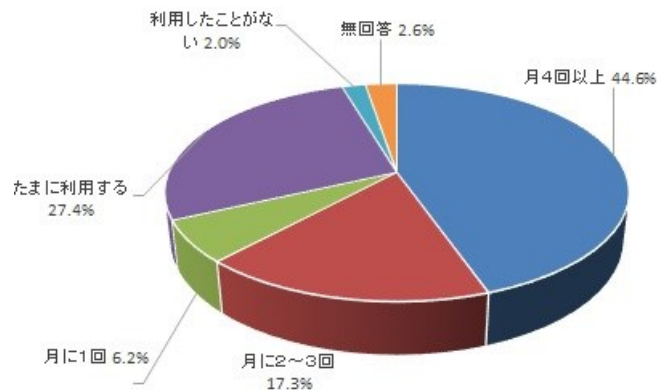
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

読書について

Q.17 本学の図書館をどのくらいのペースで利用しますか？ ※重複回答者一部含む

設問の「2,3,4」の項目が減少し、「月に4回以上」の項目が前回調査時より9.1ポイント増加したことから、本学学生の図書館の利用頻度は増加傾向にあると考えられる。

	本学図書館の利用	人数	構成比
1	月4回以上	137	44.6%
2	月に2～3回	53	17.3%
3	月に1回	19	6.2%
4	たまに利用する	84	27.4%
5	利用したことがない	6	2.0%
	無回答	8	2.6%
	合計	307	100.0%



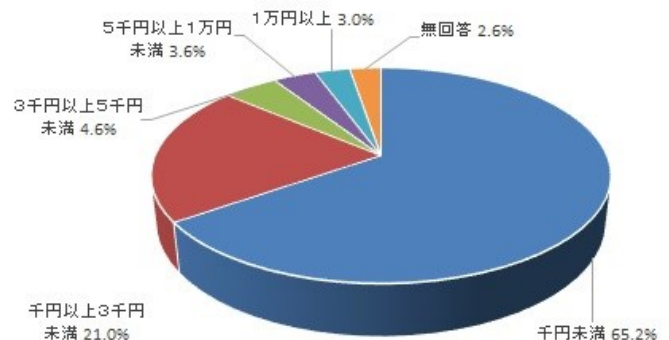
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

読書について

Q.18 一カ月の読書に要する費用はいくらですか？

図書館の利用頻度と比例して、前回調査より読書にかかる費用は多くなった。

	読書に関する費用（1ヵ月）	人数	構成比
1	千円未満	199	65.2%
2	千円以上3千円未満	64	21.0%
3	3千円以上5千円未満	14	4.6%
4	5千円以上1万円未満	11	3.6%
5	1万円以上	9	3.0%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%

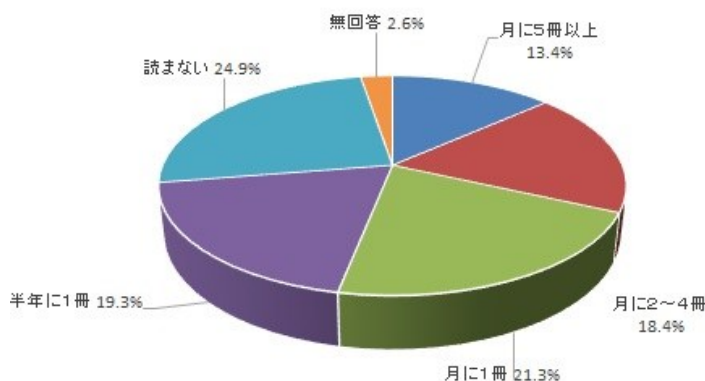


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.19 本を読むペースはどのくらいですか？

「1,2」の項目が増加し、「読まない」の項目が5.5ポイント減少した。Q.17図書館利用頻度の増加とQ.18の読書に要する費用（千円以上の回答が微増）と併せて増加した結果となった。

	1か月の読書量	人数	構成比
1	月に5冊以上	41	13.4%
2	月に2～4冊	56	18.4%
3	月に1冊	65	21.3%
4	半年に1冊	59	19.3%
5	読まない	76	24.9%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



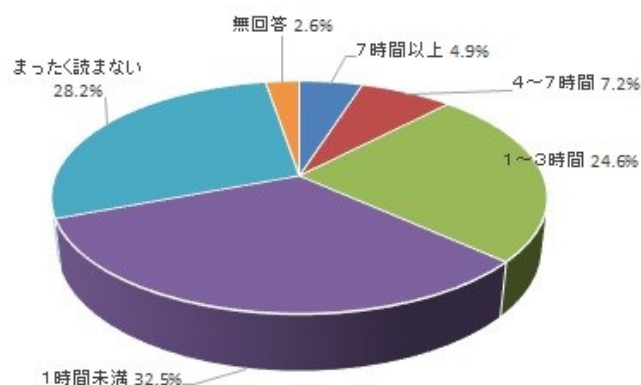
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.20 一日に読書に費やす時間はどのくらいですか？

読書に費やす時間については、「まったく読まない」が減少し、「1時間未満」、「1～3時間」以外の項目が増加した。これまでの回答の結果からもわかるように、全体的に本

を読むペース、時間や費用などが前回調査時より増加傾向にあるといえる。

	読書に費やす時間（1日）	人数	構成比
1	7時間以上	15	4.9%
2	4～7時間	22	7.2%
3	1～3時間	75	24.6%
4	1時間未満	99	32.5%
5	まったく読まない	86	28.2%
	無回答	8	2.6%
	合計	305	100.0%



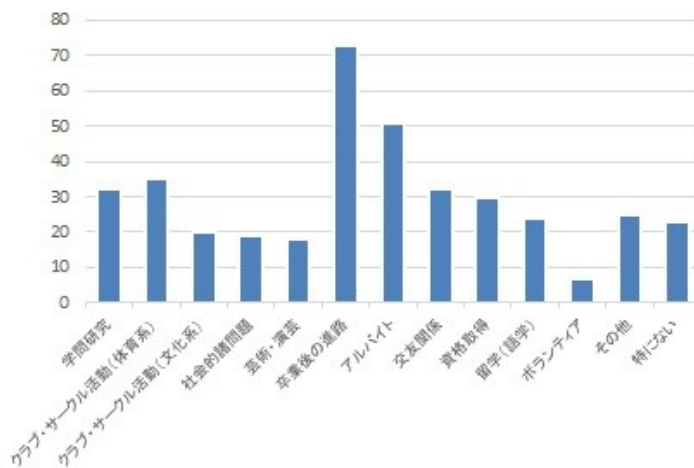
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

悩み・健康について

Q.21 現在の関心事は何ですか？ ※複数回答可

現在の関心事については、前回調査までと同様に「卒業後の進路」の回答数が最も多く、「アルバイト」、「クラブ・サークル活動（体育系）」がそれに続いた。

	現在の関心事	人数
1	学問研究	32
2	クラブ・サークル活動（体育系）	35
3	クラブ・サークル活動（文化系）	20
4	社会的諸問題	19
5	芸術・演芸	18
6	卒業後の進路	73
7	アルバイト	51
8	交友関係	32
9	資格取得	30
10	留学（語学）	24
11	ボランティア	7
12	その他	25
13	特になし	23
	無回答	10
	合計	399



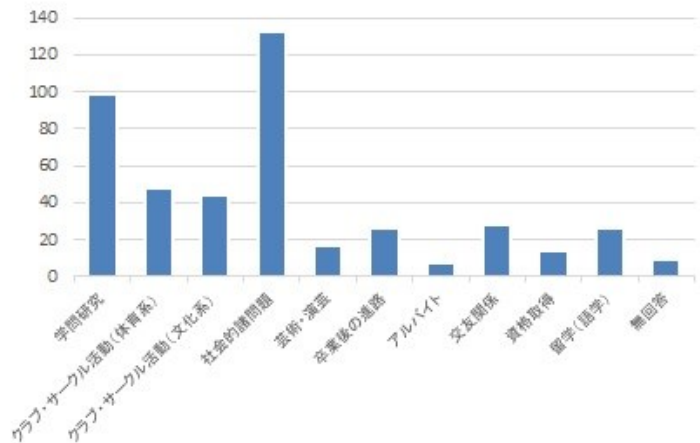
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.22 今悩んでいることはありますか？ ※複数回答可

前回までの調査とは異なり「社会的諸問題」の回答数が最も多くなった。続いて「学問研究」の回答が多くなっている。この回答については、2013年4月より「学習支援セ

ンター」が教室棟1号館に設置され、「勉学」に関する相談窓口の充実化を図っている。

	現在の悩み	人数
1	学問研究	99
2	クラブ・サークル活動(体育系)	48
3	クラブ・サークル活動(文化系)	44
4	社会的諸問題	133
5	芸術・演芸	17
6	卒業後の進路	26
7	アルバイト	7
8	交友関係	28
9	資格取得	14
10	留学(語学)	26
	無回答	9
	合計	451

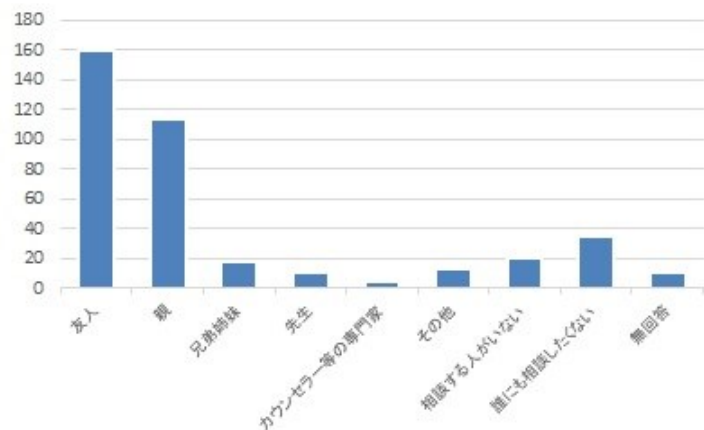


Q.23 困ったとき、悩んだ時は誰に相談しますか？ ※複数回答可

「友人」が最も多く、「親」が続くという、例年とほぼ同様の結果となった。本学では学生相談室の設置をはじめ、「桃山学院大学健康相談24」などの電話による健康・メン

タル相談を24時間行えるようにするなど、学生相談の体制を整えているが、「カウンセラー等の専門家」に相談する人数は多くない。

	困った時、悩んだ時の相談相手	人数
1	友人	159
2	親	114
3	兄弟姉妹	18
4	先生	11
5	カウンセラー等の専門家	5
6	その他	13
7	相談する人がいない	20
8	誰にも相談したくない	35
9	無回答	11
10	合計	386



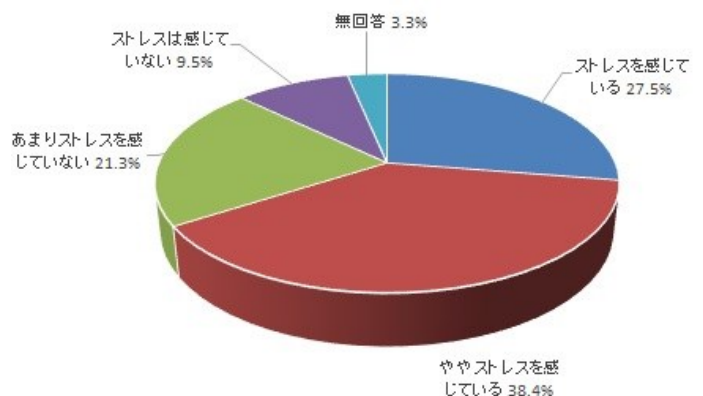
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

悩み・健康について

Q.24 日頃ストレスを感じますか？

今回調査でも「ストレスを感じている」「ややストレスを感じている」の合計が65.9%と、高い割合となっている。常日頃からストレスを感じている分、Q23のとおり身近な相談相手が重要となっている。

	日頃のストレスについて	人数	構成比
1	ストレスを感じている	84	27.5%
2	ややストレスを感じている	117	38.4%
3	あまりストレスを感じていない	65	21.3%
4	ストレスは感じていない	29	9.5%
	無回答	10	3.3%
	合計	305	100.0%

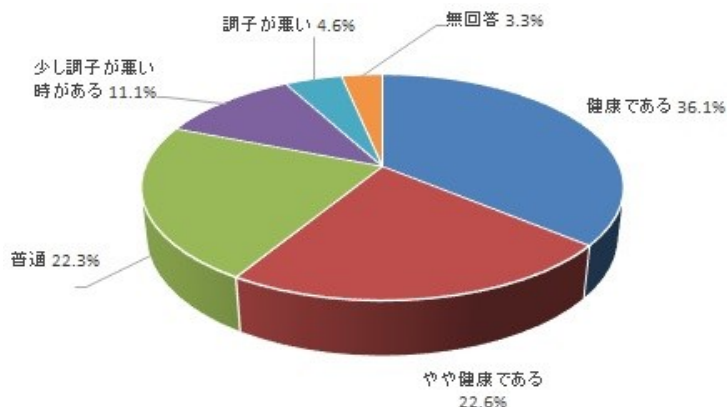


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.25 自分の健康状態をどのように感じていますか？

前回までと大きな変化は見られない。「健康である」の割合が36.1%と最も高く、「やや健康である」、「普通」と合計すると、8割以上の学生は健康上、特に問題はないと捉えているようである。

	日頃の健康について	人数	構成比
1	健康である	110	36.1%
2	やや健康である	69	22.6%
3	普通	68	22.3%
4	少し調子が悪い時がある	34	11.1%
5	調子が悪い	14	4.6%
	無回答	10	3.3%
	合計	305	100.0%



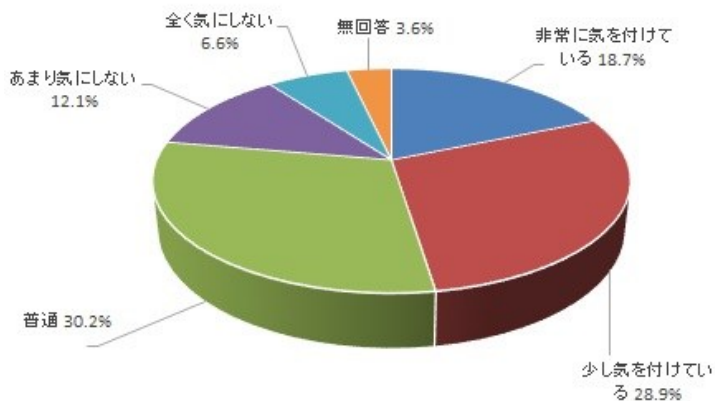
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.26 自分の健康を気遣っていますか？

「普通」の割合が一番高く、前回調査時と比べると「非常に気をつけている」が3.9ポイント増加した。「少し気をつ

けている」の割合が2.3ポイント減少、「あまり気にしない」の割合が2.4ポイント増加となった。

	健康についての気遣い	人数	構成比
1	非常に気をつけている	57	18.7%
2	少し気をつけている	88	28.9%
3	普通	92	30.2%
4	あまり気にしない	37	12.1%
5	全く気にしない	20	6.6%
	無回答	11	3.6%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

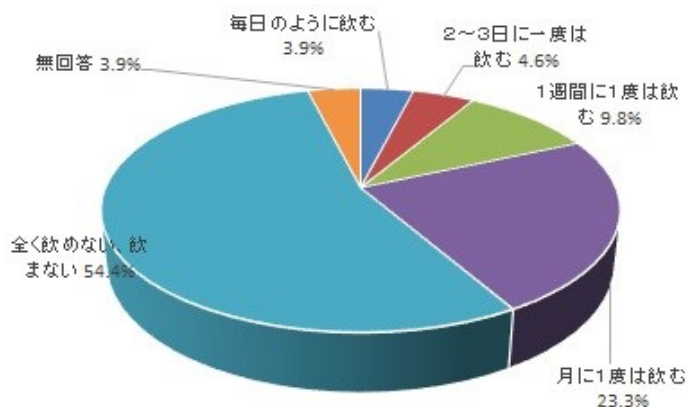
悩み・健康について

Q.27 普段どのくらいお酒を飲みますか？

例年の調査同様、「月に1度は飲む」と「全く飲めない、飲まない」の割合が高く、日常的に飲酒を行う学生は少ないことが分かる。大学生活は多くの学生にとって、初めて飲酒

の機会に触れる時であり、正しい飲酒の知識と、自身にとっての適切な量を把握することが大切である。

	飲酒について	人数	構成比
1	毎日のように飲む	12	3.9%
2	2～3日に一度は飲む	14	4.6%
3	1週間に1度は飲む	30	9.8%
4	月に1度は飲む	71	23.3%
5	全く飲めない、飲まない	166	54.4%
	無回答	12	3.9%
	合計	305	100.0%



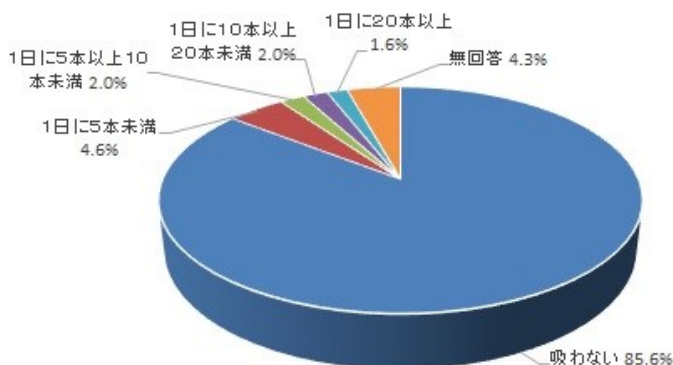
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.28 普段どのくらい煙草を吸いますか？

前回までの調査に引き続き、非喫煙者の割合が85.6%と大半を占めた。喫煙はこれまで健康被害が大きくクローズ

アップされてきたが大学として今後も、喫煙がもたらす影響について啓発を続けていく必要がある。

喫煙について		人数	構成比
1	吸わない	261	85.6%
2	1日に5本未満	14	4.6%
3	1日に5本以上10本未満	6	2.0%
4	1日に10本以上20本未満	6	2.0%
5	1日に20本以上	5	1.6%
	無回答	13	4.3%
	合計	305	100.0%



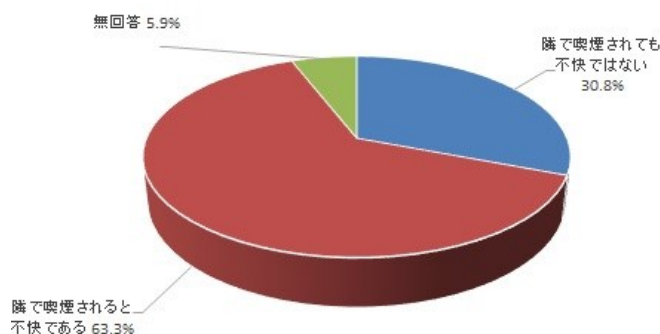
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.29 指定場所以外での喫煙についてどう思いますか？

本設問も前回調査とほぼ同じで、「隣で喫煙されて不快である」が63.3%と過半数を占めた。本項目は、指定場所以外での喫煙に関する嫌煙調査であり、過去の調査でも注意喚起を行って欲しい旨の意見が多く寄せられる。今後も喫煙マ

ナーキャンペーンを継続実施し、全ての学生が快適に過ごせるキャンパスを構築していきたい。また、本学では2020年1月を目途に敷地内禁煙になる予定である。

嫌煙について		人数	構成比
1	隣で喫煙されても不快ではない	94	30.8%
2	隣で喫煙されると不快である	193	63.3%
	無回答	18	5.9%
	合計	305	100.0%



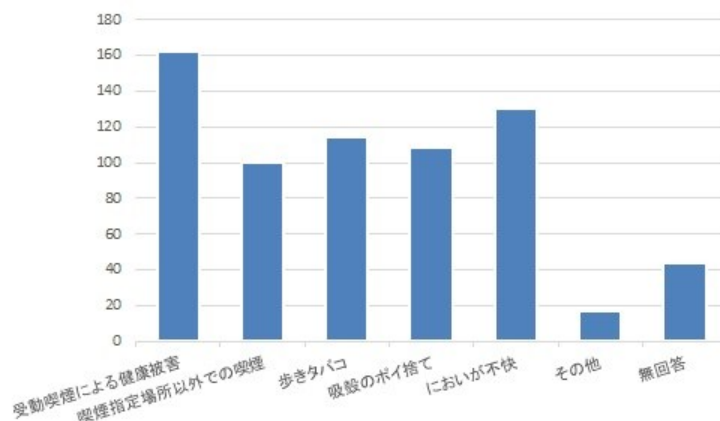
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.30 Q.29の質問について不快と思う理由 ※複数選択可

前回調査時から追加した項目である。自由記述にもあったが、受動喫煙について、におい、歩きタバコが不快と回答する意見が多く、指定場所以外での喫煙やポイ捨てなどについても多くの学生が回答をしている。現在は、喫煙マナーク

リーンキャンペーンを月に1度（1週間）実施しているが、まだまだ多くのマナー違反者が存在しているのが現状である。

不快と思う理由		人数
1	受動喫煙による健康被害	162
2	喫煙指定場所以外での喫煙	100
3	歩きタバコ	114
4	吸殻のポイ捨て	108
5	においが不快	130
6	その他	17
	無回答	44
	合計	675

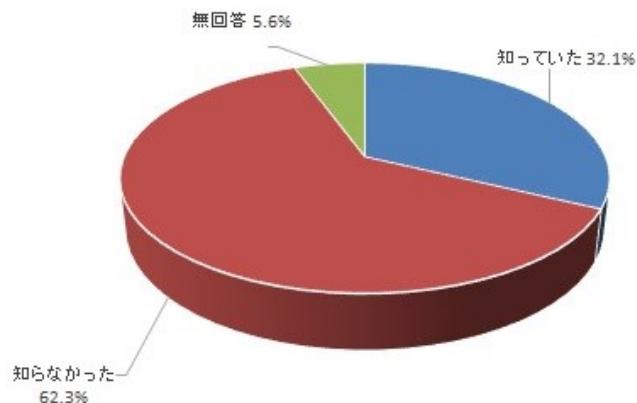


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.3.1 2020年1月をめどに学内全面禁煙が開始となることを知っていましたか？

今回の調査から追加した項目である。全面禁煙について知らなかったと答えた学生が多く、今後これからの周知方法を検討する必要がある。

	学内全面禁煙について	人数	構成比
1	知っていた	98	32.1%
2	知らなかった	190	62.3%
	無回答	17	5.6%
	合計	305	100.0%

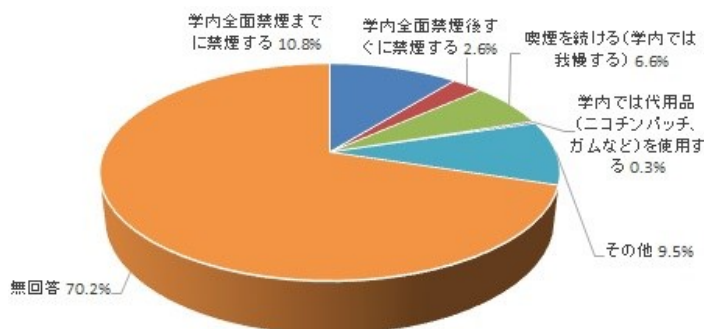


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.3.2 【喫煙者対象】学内全面禁煙後の喫煙について

学内全面禁煙までに禁煙すると答えた者が一番多かった。

	学内全面禁煙について	人数	構成比
1	学内全面禁煙までに禁煙する	33	10.8%
2	学内全面禁煙後すぐに禁煙する	8	2.6%
3	喫煙を続ける（学内では我慢する）	20	6.6%
4	学内では代用品（ニコチンパッチ、ガムなど）を使用する	1	0.3%
5	その他	29	9.5%
	無回答	214	70.2%
	合計	305	100.0%

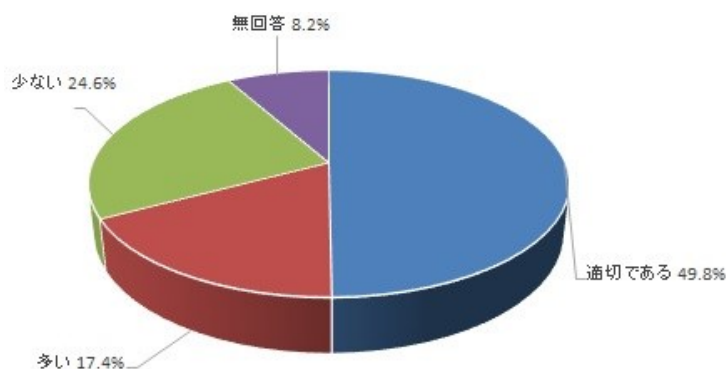


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.3.3 学内喫煙スペースの数についてどう思いますか？

「適切である」が6.8ポイント増加し、約半数の回答を得た。多い、少ないと回答している者もいるため敷地内禁煙実施までの間にも設置場所の検討が必要になるだろう。

	学内喫煙スペースの数	人数	構成比
1	適切である	152	49.8%
2	多い	53	17.4%
3	少ない	75	24.6%
	無回答	25	8.2%
	合計	305	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

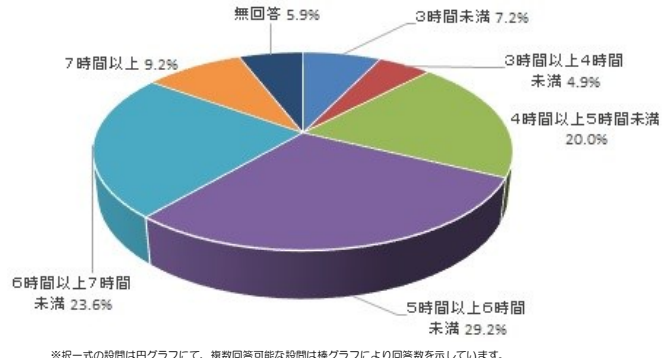
悩み・健康について

Q.34 普段の睡眠時間はどのくらいですか？

昨年度までと同様に「5時間以上6時間未満」の割合が29.2%と最も高かった。厚生労働省の調査によると、成人の睡眠時間は6時間以上～8時間未満がボリュームゾーンで

あり、約6割の人がここに属しているという。ここから本結果を比較すると、本学では睡眠時間が短い学生が多いと言える。

	睡眠時間	人数	構成比
1	3時間未満	22	7.2%
2	3時間以上4時間未満	15	4.9%
3	4時間以上5時間未満	61	20.0%
4	5時間以上6時間未満	89	29.2%
5	6時間以上7時間未満	72	23.6%
6	7時間以上	28	9.2%
	無回答	18	5.9%
	合計	305	100.0%

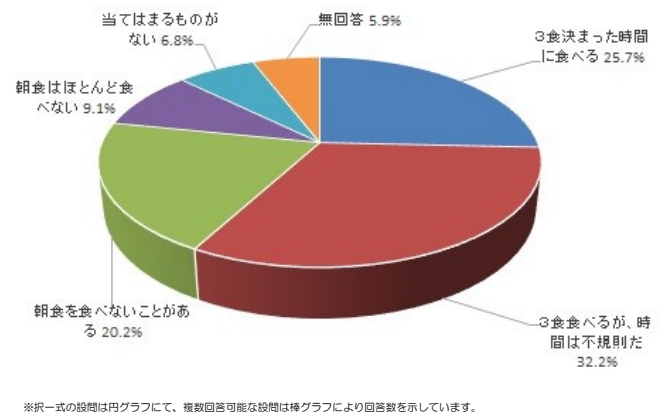


Q.35 自分の食生活について一番あてはまるものは何ですか？ ※重複回答者一部含む

これも前回調査時までと同様に「3食食べるが、時間は不規則だ」の割合が32.2%と最も高かったが、前回調査時よりは8.2ポイント減少し、「3食決まった時間に食べる」が5.9ポイント増加した。本学では学生の指導の一環として

「ひとり暮らしのための料理教室」（自宅生でも参加可能）や100円朝食キャンペーンを定期的で開催している。

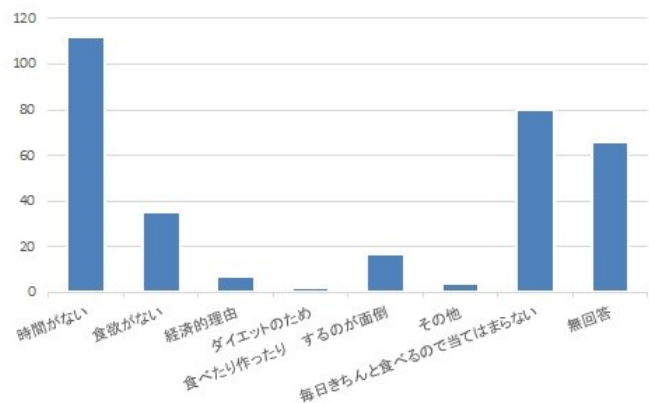
	食生活について	人数	構成比
1	3食決まった時間に食べる	79	25.7%
2	3食食べるが、時間は不規則だ	99	32.2%
3	朝食を食べないことがある	62	20.2%
4	朝食はほとんど食べない	28	9.1%
5	当てはまるものがない	21	6.8%
	無回答	18	5.9%
	合計	307	100.0%



Q.36 朝食を食べないことがある場合、その理由は？ ※複数回答可

朝食を食べないことがある場合の理由については、前回までと同様に「時間がない」を選択する学生が最も多かった。

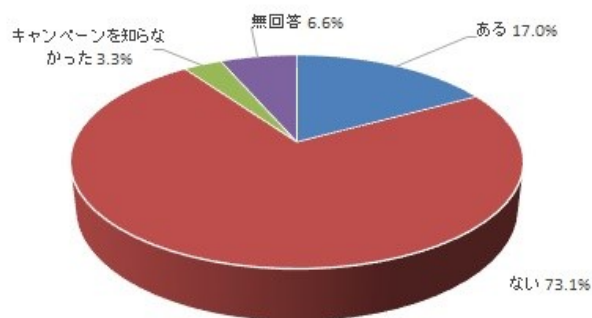
	朝食を食べない理由	人数
1	時間がない	112
2	食欲がない	35
3	経済的理由	7
4	ダイエットのため	2
5	食べたり作ったりするのが面倒	17
6	その他	4
7	毎日きちんと食べるので当てはまらない	80
	無回答	66
	合計	323



Q.37 定期的に実施している朝食キャンペーンを利用したことがあるか？

キャンペーンを利用していない、またキャンペーン自体を知らなかった学生が約7割を占めていた。M-Portや掲示にて告知を行っているが、今後も利用者増に向けて定期的に広報していく必要がある。

	100円朝食キャンペーンの利用	人数	構成比
1	ある	52	17.0%
2	ない	223	73.1%
3	キャンペーンを知らなかった	10	3.3%
	無回答	20	6.6%
	合計	305	100.0%

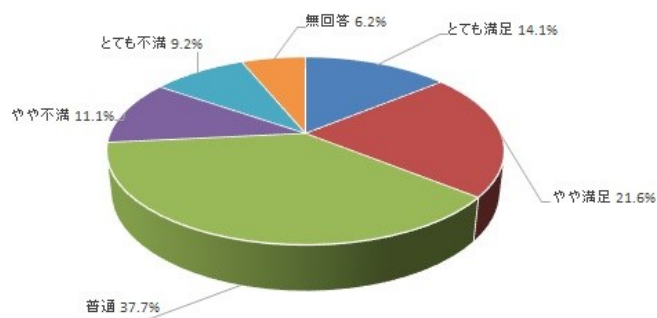


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.38 大学の食堂に満足していますか？

「普通」という意見が最も多く、満足・不満についての意見は分かれる結果となった。

	食堂の満足度	人数	構成比
1	とても満足	43	14.1%
2	やや満足	66	21.6%
3	普通	115	37.7%
4	やや不満	34	11.1%
5	とても不満	28	9.2%
	無回答	19	6.2%
	合計	305	100.0%

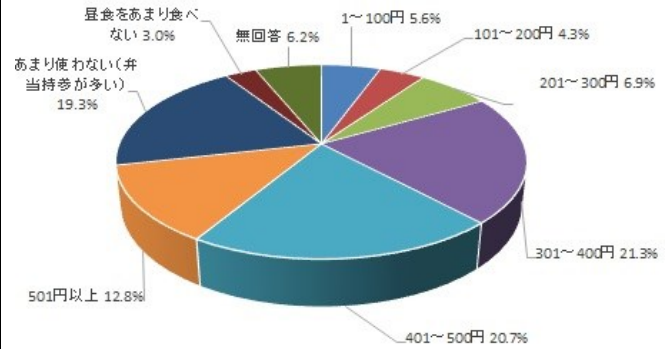


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.39 大学での昼食に使う金額は？（1回あたりの平均）

301～400円の回答が一番多く、401～500円の回答がそれに続く形となった。

	大学での昼食代	人数	構成比
1	1～100円	17	5.6%
2	101～200円	13	4.3%
3	201～300円	21	6.9%
4	301～400円	65	21.3%
5	401～500円	63	20.7%
6	501円以上	39	12.8%
7	あまり使わない（弁当持参が多い）	59	19.3%
8	昼食をあまり食べない	9	3.0%
	無回答	19	6.2%
	合計	305	100.0%



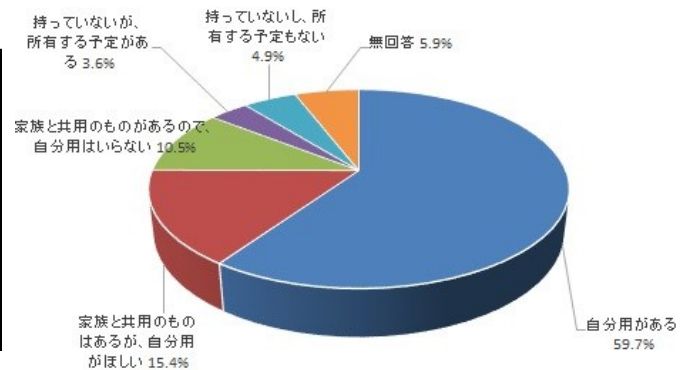
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

情報関連について

Q.40 パソコンを持っていますか？

今回も「自分用がある」の割合が59.7%と高い割合となり、前回調査時とほぼ同じ結果となった。

	パソコン保有状況	人数	構成比
1	自分用がある	182	59.7%
2	家族と共用のものがあるが、自分用がほしい	47	15.4%
3	家族と共用のものがあるので、自分用はிரらない	32	10.5%
4	持っていないが、所有する予定がある	11	3.6%
5	持っていないし、所有する予定もない	15	4.9%
	無回答	18	5.9%
	合計	305	100.0%



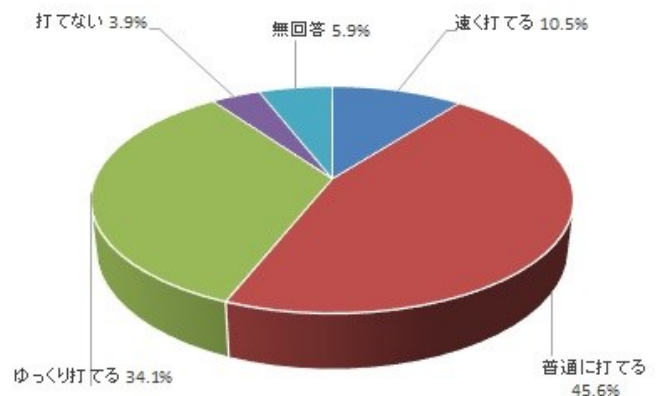
※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.41 タイピング能力はどの程度ですか？

前回までと同様に「普通に打てる」の割合が45.6%と最も高い割合となった。レポートや授業内プレゼンテーション資料の作成など、学習面での利用頻度の増加だけでなく、インターネットなどでの趣味においてタイピングの機会が大幅

に増加していることが要因であろう。「打てない」の割合は3.9%となった。

	タイピング習得状況	人数	構成比
1	速く打てる	32	10.5%
2	普通に打てる	139	45.6%
3	ゆっくり打てる	104	34.1%
4	打てない	12	3.9%
	無回答	18	5.9%
	合計	305	100.0%

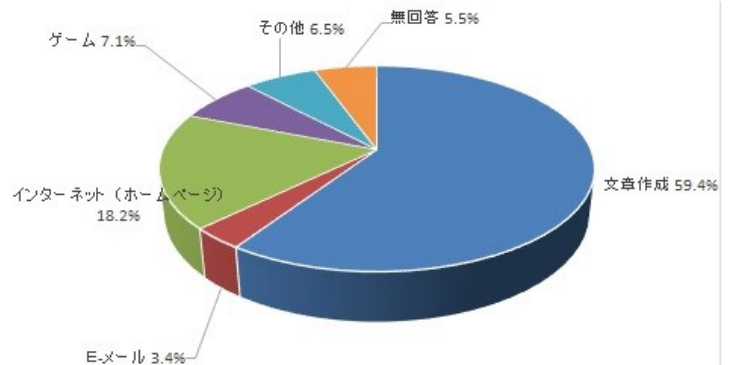


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.42 パソコンをどんな目的で使いますか？※重複回答者を含む

パソコンの利用目的については、前回までの調査と異なり「文章作成」の割合が59.4%と最も高い割合を占めた。続いてインターネットが18.2%と続いた。

	パソコンの主たる利用目的	人数	構成比
1	文章作成	193	59.4%
2	Eメール	11	3.4%
3	インターネット（ホームページ）	59	18.2%
4	ゲーム	23	7.1%
5	その他	21	6.5%
	無回答	18	5.5%
	合計	325	100.0%



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

情報関連について

Q.43 インターネットの利用頻度はどのくらいですか？

無回答を除くと「ほぼ毎日」「時々」の合計が9割に近い回答となっている。

	インターネットの利用	人数	構成比
1	ほぼ毎日	145	47.5%
2	時々	125	41.0%
3	利用していない	16	5.2%
	無回答	19	6.2%
	合計	305	100.0%

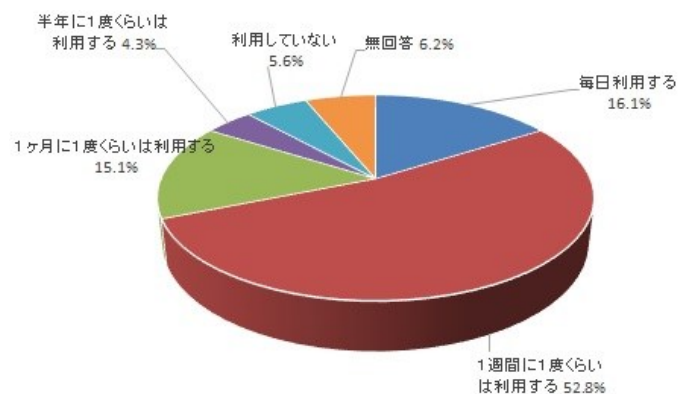


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.44 本学のホームページを利用しますか？

本設問では、2011年度よりWeb履修登録やポータルサイトの運営（M-Port）が始まったことで、利用頻度の大幅な向上が見られたが今回調査は、「毎日利用する」の割合が1.9ポイント減少した。「一週間に一度くらいは利用する」の割合が52.8%という結果となった。

	本学ホームページの利用	人数	構成比
1	毎日利用する	49	16.1%
2	1週間に1度くらいは利用する	161	52.8%
3	1ヶ月に1度くらいは利用する	46	15.1%
4	半年に1度くらいは利用する	13	4.3%
5	利用していない	17	5.6%
	無回答	19	6.2%
	合計	305	100.0%

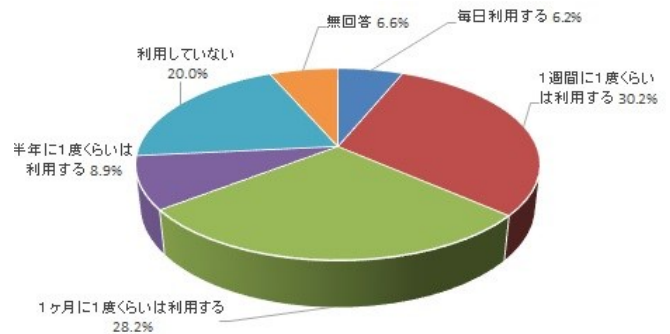


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.45 情報センターの自習室（PCロビー室含む）をどのくらい利用しますか？

「1週間に1度くらいは利用する」の割合が30.2%と最も高く、次いで「1ヶ月に1度くらいは利用する」が28.2%となっている。

	情報センター自習室（PCロビー含む）の利用	人数	構成比
1	毎日利用する	19	6.2%
2	1週間に1度くらいは利用する	92	30.2%
3	1ヶ月に1度くらいは利用する	86	28.2%
4	半年に1度くらいは利用する	27	8.9%
5	利用していない	61	20.0%
	無回答	20	6.6%
	合計	305	100.0%



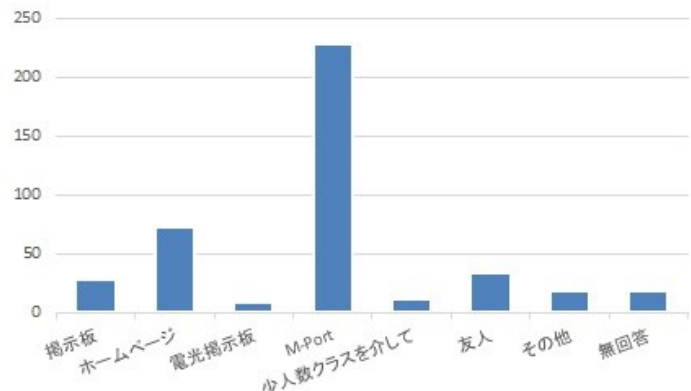
※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

情報関連について

Q.46 本学からの情報はどこで取得していますか？ ※複数回答可

M-Portと答えた学生が最も多かった。閲覧については、スマートフォンやパソコンを所有していない学生のために、教務課や学生支援課窓口でM-Port専用端末の設置を行うなど、措置を講じている。

	本学からの情報取得手段	人数
1	掲示板	28
2	ホームページ	72
3	電光掲示板	9
4	M-Port	228
5	少人数クラスを介して	11
6	友人	34
7	その他	18
	無回答	18
	合計	418



※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.47 本学から送信されたメールは見ていますか？

M-Portからの通知を携帯電話に転送している学生が多いため、メールを見ている学生は85%を超える結果となった。

	本学から送信されたメールを見ているか	人数	構成比
1	必ず見る	114	37.4%
2	たまに見る	148	48.5%
3	見ない	23	7.5%
	無回答	20	6.6%
	合計	305	100.0%

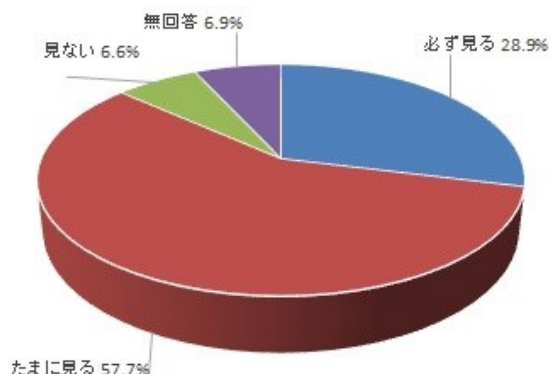


※択一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.48 M-Portのお知らせは見ていますか？

「必ず見る」、「たまに見る」の合計が8割を超える結果となっており、M-Portも定着したといえる。

	M-Portのお知らせ	人数	構成比
1	必ず見る	88	28.9%
2	たまに見る	176	57.7%
3	見ない	20	6.6%
	無回答	21	6.9%
	合計	305	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.49 Campus Guide（大学HP掲載の学生生活に関わる総合ガイド）を活用していますか？

新入生が大学生活に早く馴染めるよう、新入生向けの「Campus Guide」を本学HPにて公開しているが「活用していない」、「ガイドを知らなかった」併せて8割を超える

結果となった。本結果を踏まえ、より認知し活用してもらえる方法を検討する必要がある。

	Campus Guideの活用	人数	構成比
1	活用している	19	6.2%
2	活用していない	142	46.6%
3	ガイドを知らなかった	122	40.0%
	無回答	22	7.2%
	合計	305	100.0%

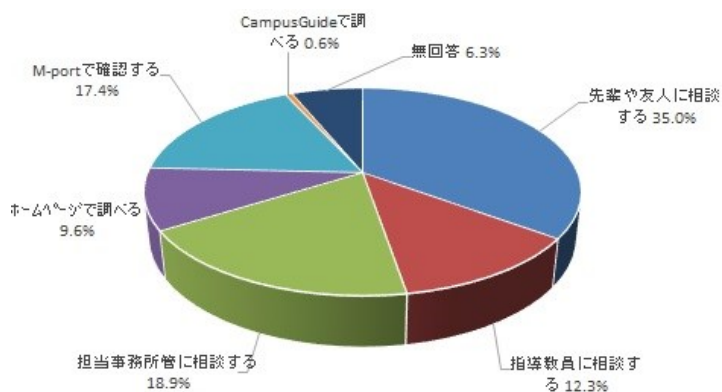


※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.50 学生生活の中で、どのような手続きをすべきかわからないことがあった場合、どう対処していますか？ ※重複回答者一部含む

Q.23と同様に身近な存在である「先輩・友人」に相談する割合が多い結果となった。本学側の情報発信方法の参考としていきたい。

	Campus Guideの活用	人数	構成比
1	先輩や友人に相談する	117	35.0%
2	指導教員に相談する	41	12.3%
3	担当事務所に相談する	63	18.9%
4	ホームページで調べる	32	9.6%
5	M-portで確認する	58	17.4%
6	CampusGuideで調べる	2	0.6%
	無回答	21	6.3%
	合計	334	100.0%



※折一式の設問は円グラフにて、複数回答可能な設問は棒グラフにより回答数を示しています。

Q.46 大学に対する要望はありますか？

例年と同様に通学バス・喫煙マナーについての意見が多く出る結果となった。

通学バスについては、増便や講義に合わせたダイヤの見直し、運賃など、もっと交通の便を良くして利用しやすくしてほしいという意見が出た。

喫煙マナーについては、歩きタバコなどをはじめとする、指定喫煙場所以外での喫煙やポイ捨てについて不快に感じマナー改善を求める意見が多数出た。2020年1月を目途に敷地内禁煙を予定しているが、このままでは実施はかなり難しくなることが予想される。まずは、今後も指定場所以外での喫煙やタバコの吸殻のポイ捨てなどについてマナーキャンペーンを実施し、啓発活動を根気よく続けていくことが必要であると考えます。

他の記述では、食堂についてもっと内容を充実させて欲しいといった内容を中心に、厳しい意見が多数出た。他大学では低価格で学生に満足感を与えるものを提供していたり、また有名なレストランを誘致しているところもある。学生満足度の向上に向けて、また新たな課題が浮き彫りとなった。

